



イントロダクション

この章の次の各項を参照してください。

- 「連動についての説明」(P.1-1)
- 「コール情報」(P.1-1)
- 「連動の機能」(P.1-2)
- 「複数の電話システムとの連動」(P.1-3)

連動についての説明

Cisco Unified Communications Manager SIP トランク連動では、LAN または WAN を介して接続が確立されます。ゲートウェイから公衆電話交換網 (PSTN) に接続できます。

SIP トランクを介した Cisco Unity Connection との連動がサポートされている Cisco Unified CM のバージョンのリストについては、『*SIP Trunk Compatibility Matrix: Cisco Unity Connection, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express*』(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html) を参照してください。

このマニュアルは、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM からの別のサーバでインストールされている場合にだけ適用されます。Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM と同じサーバに Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) としてインストールされた構成では、このマニュアルは適用されません。

コール情報

電話システムでは、転送された通話に関する次の情報を送信します。

- 着信側の内線番号
- 発信側の内線番号 (内線通話の場合) または発信側の電話番号 (外線通話においてシステムで発信者 ID が使用される場合)
- 転送の理由 (内線が通話中である、応答しない、またはすべての着信を転送するように設定されている)

Cisco Unity Connection は、この情報を使用して、コールに適切に応答します。たとえば、Cisco Unity Connection に転送された通話への応答には、ユーザのパーソナル グリーティングが使用されます。電話システムがコールを転送するときに、この情報を付加しなかった場合、Cisco Unity Connection はコールにオープニング グリーティングで応答します。

連動の機能

Cisco Unity Connection との Cisco Unified CM SIP トランク連動には、次の機能が用意されています。

- パーソナル グリーティングへの自動転送
- 通話中グリーティングへの自動転送
- 発信者 ID
- 容易なメッセージアクセス（ユーザは ID を入力しなくてもメッセージを取得できます。Cisco Unity Connection では、通話発信元の内線番号に基づいてユーザを識別します。パスワードが必要になる場合があります）
- 識別されたユーザのメッセージ（Cisco Unity Connection では、転送された内線通話中にメッセージを残したユーザを、通話発信元の内線番号に基づいて自動的に識別します）。
- メッセージ待機インジケータ（MWI）

この連動の機能は、次に説明する問題の影響を受ける場合があります。

Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony（SRST）ルータの使用

ネットワークに Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony（SRST）ルータが含まれている状況で、Cisco Unified SRST ルータが Cisco Unified CM から通話処理機能を引き継いだ場合（WAN リンクのダウンなどの理由で）、支社の電話機は動作を続行できます。ただし、この場合は、連動機能に次の制約が加えられます。

- **通話中グリーティングへの通話転送**：Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状況で、支社から Cisco Unity Connection に着信が転送された場合、通話中グリーティングを再生することはできません。
- **内線グリーティングへの通話転送**：Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状況で、支社から Cisco Unity Connection に着信が転送された場合、内線グリーティングを再生することはできません。PSTN は FXO 回線の発番号を提供するため、発信者はユーザとして識別されません。
- **着信転送**：PSTN に到達するにはアクセス コードが必要であるため、Cisco Unity Connection から支社への着信転送は失敗します。
- **識別されているユーザのメッセージ**：Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用し、支社のユーザがメッセージを残したり通話を転送したりする場合、そのユーザは識別されません。発信者は、身元不明発信者と表示されます。
- **メッセージ受信インジケータ**：MWI は支社の電話機では更新されません。そのため、新規メッセージが到着した場合や、すべてのメッセージを聞いた場合、MWI はその状況を正しく反映しません。WAN リンクが再確立された場合は、MWI を再同期化することを推奨します。
- **ルーティング規則**：Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状況で、支社から Cisco Unity Connection に着信が到達した場合（一般の着信または転送呼）、着信サービスは失敗します。

Cisco Unified SRST ルータが PRI/BRI 接続を使用している場合、支社から Cisco Unity Connection への通話の発信者 ID は、PSTN によって提供される完全な番号（局番および内線番号）となる場合があります。そのため、Cisco Unity Connection ユーザの内線番号と一致しないことがあります。このケースに該当する場合は、代行内線番号を使用して発信者 ID を認識するように Cisco Unity Connection を設定できます。

SRST を使用する場合は、Redirected Dialed Number Information Service（RDNIS）がサポートされている必要があります。

Cisco Unified SRST ルータの設定については、該当する『*Cisco Unified SRST System Administrator Guide*』の「Integrating Voice Mail with Cisco Unified SRST」の章を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2169/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

AAR によって転送されるボイスメール通話に与える RDNIS の送信不能の影響

自動代替ルーティング（AAR）を使用する場合は、RDNIS がサポートされている必要があります。

AAR では、WAN が加入過多の状態になった場合に、PSTN を介して通話を転送できます。ただし、PSTN を介して再転送される場合は、RDNIS が影響を受けることがあります。Cisco Unity Connection がそのメッセージクライアントに対してリモートである場合は、RDNIS 情報に誤りが生じることにより、AAR が PSTN を介して再転送するボイスメール通話が影響を受けることがあります。RDNIS 情報が誤っている場合、通話はダイヤル先のユーザのボイスメールボックスに到達せず、代わりに自動受付のプロンプトを受信します。その場合、発信者は、到達先の内線番号を再入力するように要求されることがあります。この動作は、主に、電話通信事業者がネットワークを介した RDNIS を保証できない場合の問題です。通信事業者が RDNIS の正常な送信を保証できない理由は数多くあります。通信事業者に問い合わせ、回線のエンドツーエンドで RDNIS の送信を保証しているかどうかを確認してください。オーバーサブスクリプションの状態になった WAN に対して AAR を使用する代替の方法は、単に、オーバーサブスクリプションの状態で発信者にリオーダー トーンが聞こえるようにすることです。

複数の電話システムとの連動

Cisco Unity Connection は、複数の電話システムと同時に連動できます。サポートされる最大の組み合わせ数、および Cisco Unity Connection と複数の電話システムを連動させる手順については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で、『*Multiple Phone System Integration Guide for Cisco Unity Connection Release 10.x*』を参照してください。

